

[2021.05.14]

証券コード：4392 東証一部／福証本則

# 2021年12月期 第1四半期 決算補足資料

---



# 会社概要



# FIG会社概要（グループ相関図）

 Future Innovation Group F I G（東証一部・福証本則）  純粋持株会社	商号	F I G株式会社（Future Innovation Group, Inc.）
	設立	2018年7月2日 ※グループ前身のモバイルクリエイト設立は2002年
	代表者	代表取締役社長 村井 雄司
	所在地	大分県大分市東大道二丁目5番60号
	従業員数	703名（2021年3月末現在連結）

## グループ事業会社

情報通信

中核会社



モバイルクリエイト

孫会社（国内3社、海外2社）

中核会社



ケイティーエス



オプトエスピー



ciRobotics



PRIMECAST  
プライムキャスト

装置

中核会社



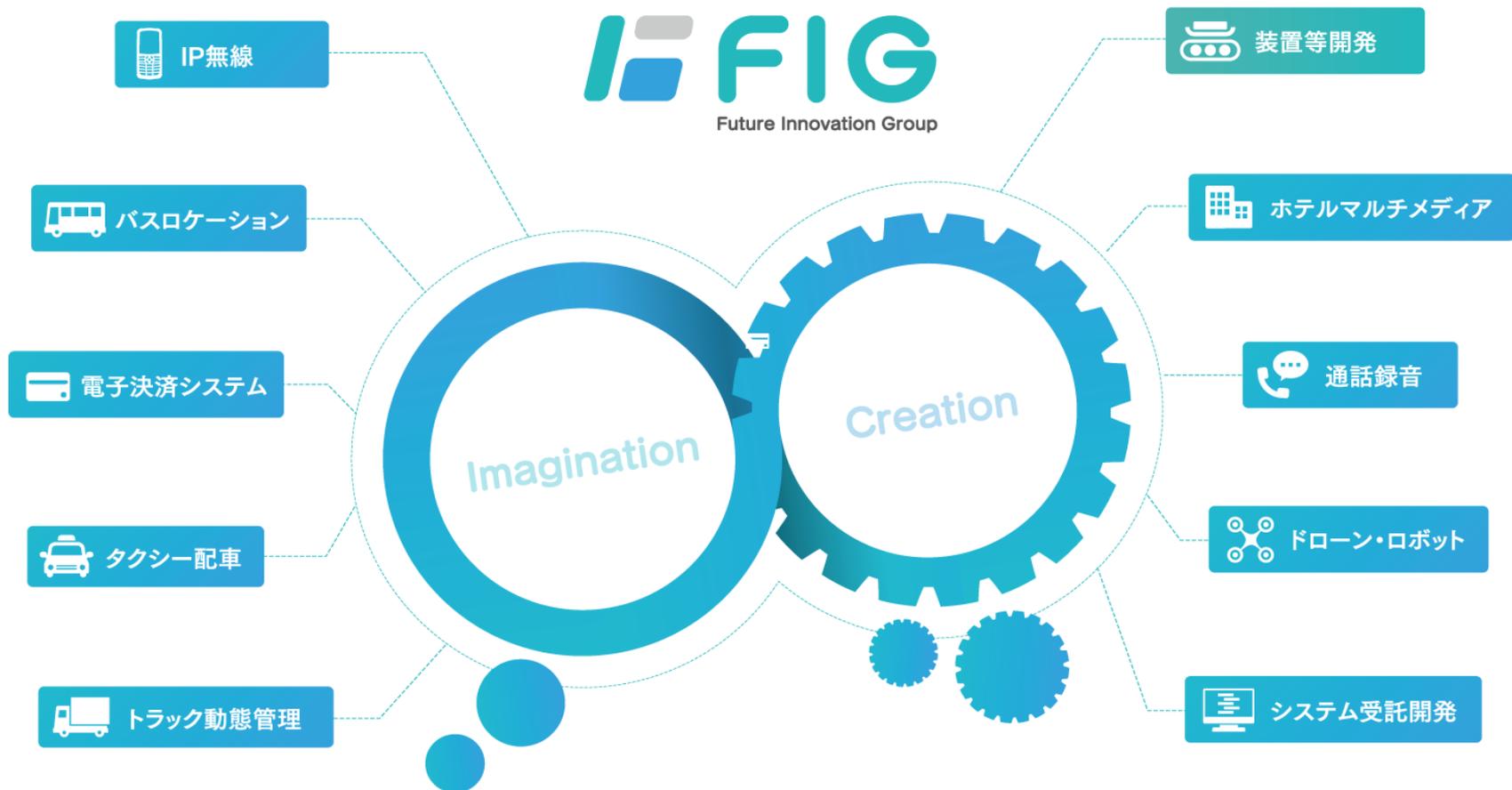
石井工作研究所

情報通信事業

装置等関連事業

## 想像と技術と情熱で快適な未来を創造

バーチャルとリアルを融合したIoT分野でのサービスを提供し、スマートな社会の実現に貢献します



# FY2021 第1四半期決算概要



# FY2021 第1四半期決算ハイライト



## Point

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響は受けているものの、情報通信事業はストックビジネスの拡大により業績好調を維持し、業績不振が続いていた装置等関連事業についても業績回復の兆しが見えてきた
- 月額定額制のサブスクリプションモデルによりストックビジネスが伸長
- 得意とする公共交通を中心としたペイメント関連サービスが好調に推移

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

※最終利益 = 親会社株主に帰属する四半期純利益

# 業績サマリー

(単位:百万円)

	FY2020 1Q累計	FY2021 1Q累計	増減額	増減率
売上高	2,518	<b>2,993</b>	+ 474	+ 18.8%
売上総利益	580	<b>858</b>	+ 278	+ 47.9%
EBITDA	48	<b>317</b>	+ 269	+ 557.5%
営業利益	△60	<b>200</b>	+ 260	—
経常利益	△37	<b>210</b>	+ 247	—
最終利益	△166	<b>132</b>	+ 298	—

# セグメント別業績

(単位：百万円)

	FY2020 1Q累計	FY2021 1Q累計	増減額	増減率
売上高	2,518	<b>2,993</b>	+474	+18.8%
情報通信事業	1,597	<b>1,870</b>	+272	+17.1%
装置等関連事業	920	<b>1,122</b>	+201	+21.9%

(単位：百万円)

	FY2020 1Q累計	FY2021 1Q累計	増減額	増減率
営業利益	△60	<b>200</b>	+260	—
情報通信事業	179	<b>296</b>	+116	+65.1%
装置等関連事業	△114	<b>47</b>	+162	—
新規事業	—	△1	△1	—
調整額	△124	△ <b>142</b>	△17	—

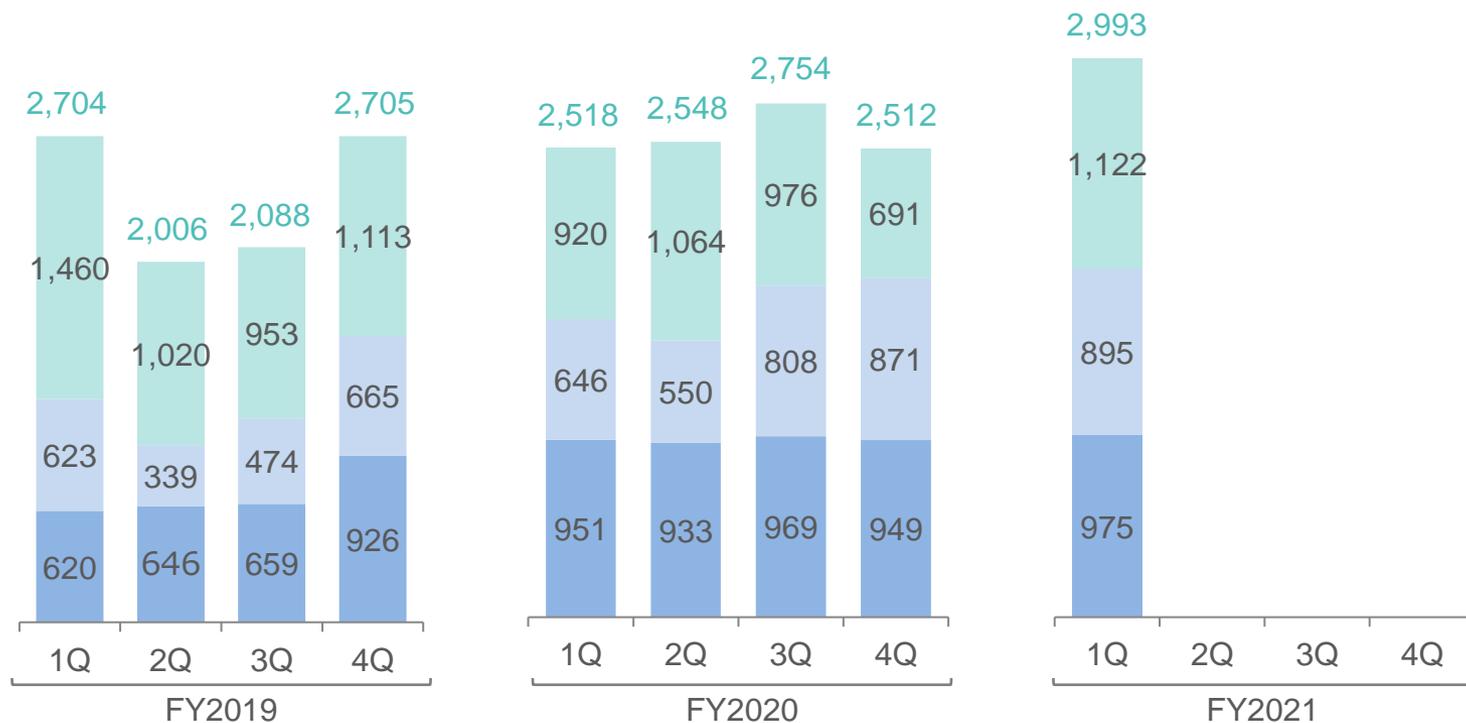
※新規事業の売上高計上はFY2022からの予定

# 四半期 売上高推移

- FY2021 1Qは売上高が伸長
- ストックビジネスの基盤は順調に拡大 (FY2021 1Q は FY2019 1Qより1.5倍に拡大)

- 装置等関連事業
- 情報通信事業 フロービジネス
- 情報通信事業 ストックビジネス

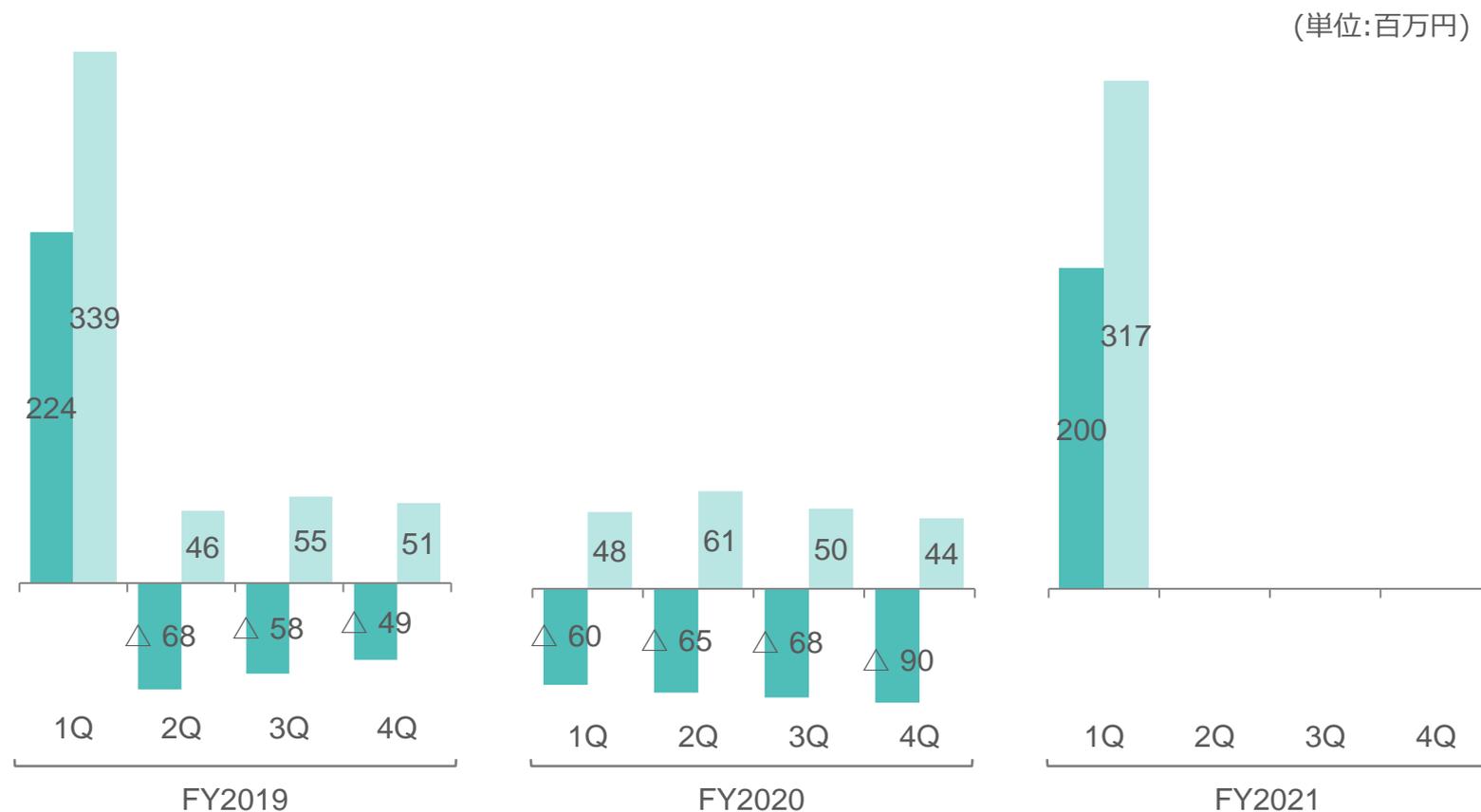
(単位:百万円)



# 四半期 営業利益・EBITDA推移

- FY2019 1Q以来の黒字転換
- EBITDAは継続的にプラスを維持し、キャッシュフローに問題はない

■ 営業利益  
■ EBITDA



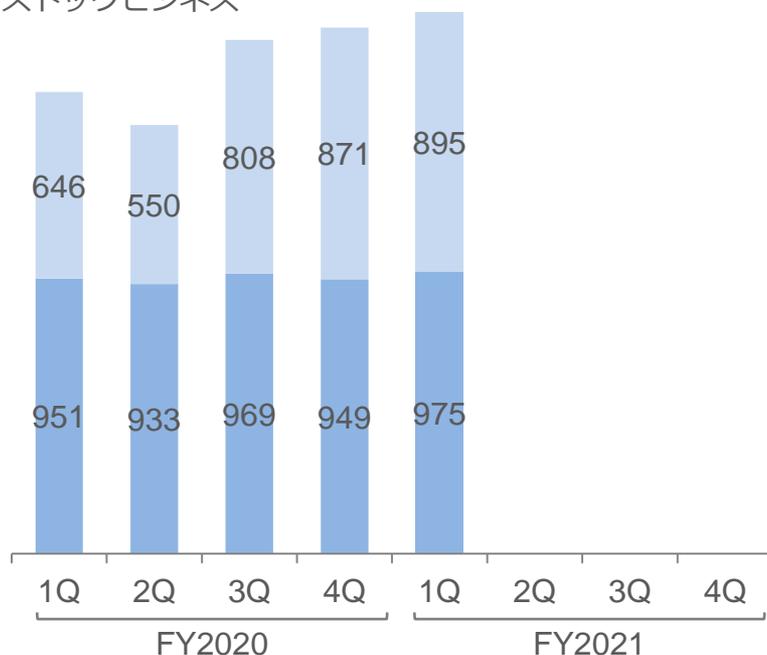
# 情報通信事業 四半期業績推移

- グループ中核会社のモバイルクリエイイトが業績を牽引、オプトエスピーとプライムキャストも業績好調
- 新型コロナウイルス禍でキャッシュレスの営業案件数が増加（成長の機会）

## 売上高

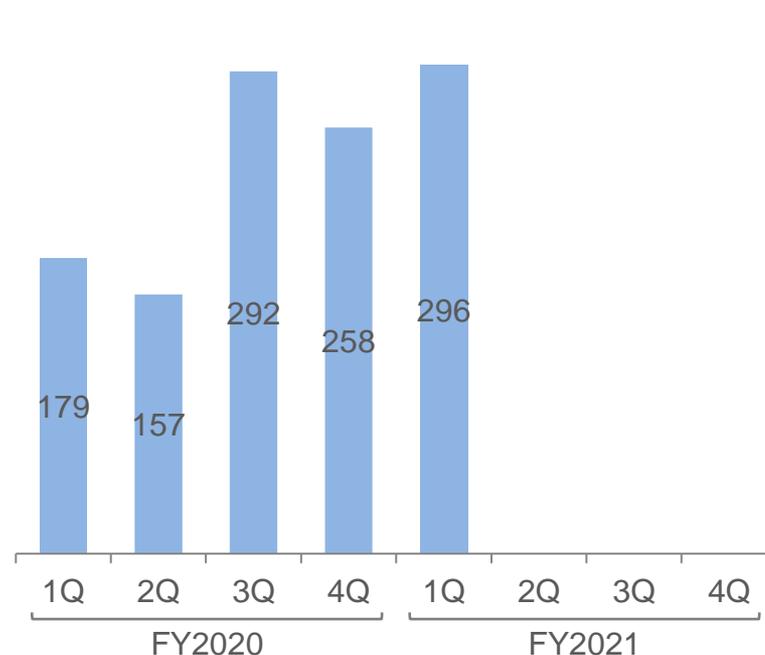
(単位:百万円)

- フロービジネス
- ストックビジネス



## 営業利益

(単位:百万円)

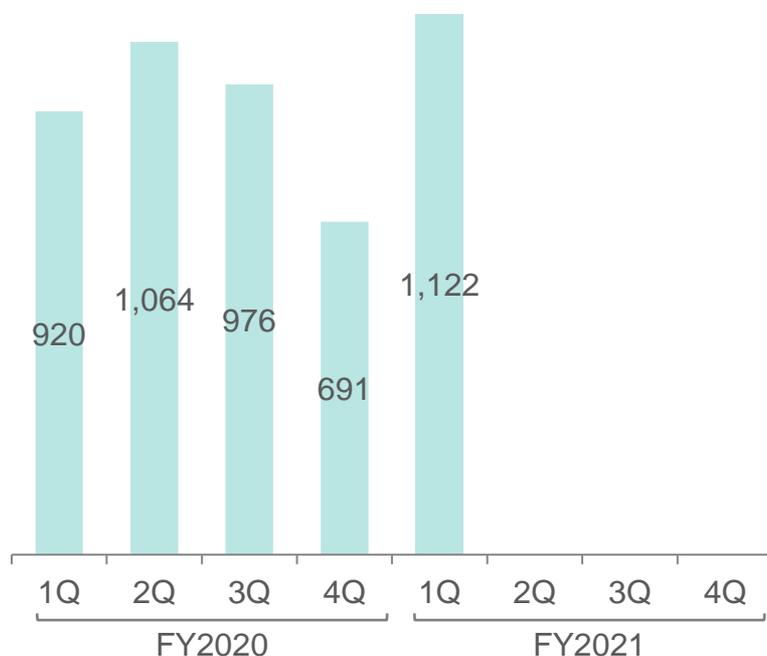


# 装置等関連事業 四半期業績推移

- FY2020は、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの影響により業績不振が継続していたが、足元の受注ベースでは回復基調であり、業績回復の兆しが見えてきた
- 利益面においても工程管理と原価管理や工場稼働率の改善を徹底し、FY2021 1Qは黒字を確保

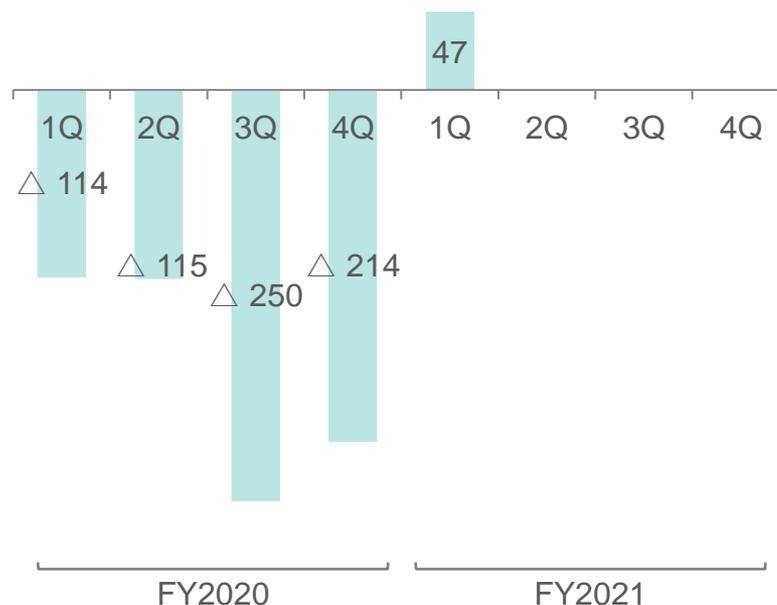
## 売上高

(単位:百万円)



## 営業利益

(単位:百万円)



# 貸借対照表

2020年12月期末

資産合計 15,294

流動資産	8,461	その他負債	2,270
		有利子負債	4,713
固定資産	6,833	純資産	8,311

2021年12月期1Q

資産合計 15,884

流動資産	8,804	その他負債	2,783
		有利子負債	4,741
固定資産	7,079	純資産	8,359

(単位:百万円)

	2020年12月期末	2021年12月期1Q
現金預金	2,341	1,773
NET有利子負債	2,371	2,967
自己資本比率	53.4%	51.7%
ネットD/Eレシオ	0.29倍	0.36倍
(新規事業分)		
新規事業分の有利子負債	1,182	1,382
新規事業分を除く有利子負債	3,531	3,359

※有利子負債はリース債務を除く利子を支払っている債務

# FY2021 通期計画

(単位：百万円／下段は売上比)

	FY2021 1Q実績	通期計画	1Q進捗率
売上高	2,993 (100.0%)	11,000 (100.0%)	27.2%
営業利益	200 (6.7%)	500 (4.5%)	40.1%
経常利益	210 (7.0%)	468 (4.3%)	44.9%
最終利益	132 (4.4%)	294 (2.7%)	44.9%
配当金 (予想)	—	5円	—

※最終利益 = 親会社株主に帰属する当期 (四半期) 純利益



【連絡先】 F I G株式会社 社長室  
【住所】 大分県大分市東大道二丁目5番60号  
【TEL】 097-576-8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。